

CONTENTS

Evidence-based Nursingの観点から見た日本の看護研究 1	書評「おんなのことば」、図書館web新サービス	6
医中誌webがバージョンアップ	2～3 先輩からのADVICE “図書館活用法”	7
平成23年度購読雑誌 新規・中止のお知らせ	3 新図書委員のあいさつ	8
新入生のみなさん ようこそ図書館へ	4～5 人事往来	8

Evidence-based Nursingの観点から見た日本の看護研究 ～私の修士論文～

地域看護学講師 片平 伸子

2010年の4月から本学の地域看護学領域に所属し、主に在宅看護について教えています。私は看護系の大学を卒業し、内科病棟から看護師生活をスタートしました。混合病棟でしたので糖尿病の教育入院、脳血管疾患の点滴治療やリハビリ、睡眠時無呼吸症の検査や血液・腹膜透析、血液疾患の方の化学療法などが行われており、様々な状態・疾患の方の看護にあたりました。その後外科病棟へ移り、内科病棟との文化の違いに驚き、新しい学びを得たのち、さらにステップアップを、と考えて訪問看護科へ異動しました。訪問看護では医療を家庭の中に持ち込むことや、療養者とご家族をまるごと支援することに難しさを感じつつも、住み慣れた自分の町、自分の家に暮らす楽しみを維持し、より高める関わりができることにやりがいを見出していたように思います。

訪問看護を3年続け、この先どうしよう？と思った時に、これまでとは違った角度から看護を見直して自分の将来を考えてみよう！と決心して、病院を退職して一学生に戻り、医療情報学を修士課程で学ぶことにしました。ここでEvidence-based Medicine (EBM)、Evidence-based Nursing (EBN) という概念に出会いました。臨床での実践に最新の研究成果を活用しよう、という方法論ですが、私自身が働いていた時には研究成果を利用する、という意識はなく、専ら看護師同士で相談して次の方策を決めたり、担当医へ報告・相談して指示を得ることがほとんどで、たまにケア方法や疾患についての図書を参考にする、という程度でした。初めてEBM、EBNを聞いた時には、実践に研究を利用する？そんなことできるの？どうやって？と疑問符だらけでしたが、研究成果に基づいたケアは患者・療養者の利益となるもので、今後医療の世界での大きなムーブメントになっていくと教えられ、新しい潮流に触れられることが面白く、看護の世界ではどうなっているのだろう、と関心を持って研究として取り組むことになりました。

当時はまだまだEBNに関する研究や実践は少ない時代でしたので、修士論文ではまずは看護研究論文の動向を掴み、エビデンスとなる日本の看護研究論文はど

んなものがどれだけあるのか検証しました。具体的には日本の代表的医学文献データベースである医中誌データベースに収載されている看護文献の量的な変化を、米国の代表的医学文献データベースMedlineと比較しました。さらに、EBM(N)の考え方で重視される「研究デザイン」というものに着目して、医中誌に収載さ

れた臨床看護を主題とした研究論文のうち、ランダム化比較試験などの比較的高いエビデンスレベルの研究デザインを用いた28文献の吟味を行いました。前半のデータベースを用いた量的な調査の際は、来る日も来る日も院生室のPC画面に向かい、データベースの処理能力の限界に挑む毎日でした。後半になって看護研究論文の吟味に入る時には、対象となる論文を入手するために所属する大学の図書館から複写依頼をあちこちをお願いしたり、他大学の図書館に通っては看護研究の雑誌を積み上げ黙々とコピーを取っては書架に返すことを繰り返したものです。この研究の結果、日本の看護文献は量的には増大しているがその質は発展途上にあること、特に高いエビデンスレベルを示す論文は稀少であることなどが明らかになりました。

しかし、この研究は2003年頃に行ったもので、近年の我が国における看護系大学・大学院の増加、看護系の学会・研究会の増加に伴い、看護研究はこの調査以降、質量ともに拡大していることと推察されます。試みに、2011年5月現在で医中誌データベースを検索すると、看護分野の原著論文が121,460件、この内、ランダム化比較試験が233件もあり、隔世の感を覚えます。今後、区切りのよいところで再調査を行ってみたいと思いますが、その時には本学の図書館および司書の皆さんにお世話になることと思います。

(かたひら のぶこ)



医中誌webの検索画面が、4月25日からバージョン5（Ver5）にバージョンアップしました。バージョンアップは二段階に分けて行われます（第二段階は9月の予定）。今回は第一段階の内容から一部をご紹介します。

ログイン・ログアウトのステップが簡略化

Ver 4では、ログイン・ログアウトしてから検索画面まで2～3のステップが必要でしたが、1クリックでログイン・ログアウトができます。本学では、Ver 4が終了する8月末を目途に1クリックでVer 5の検索画面に行けるようにします。

検索初期画面の改善

Ver 4では、「BASIC MODE」と「ADVANCE MODE」がありましたが、Ver 5では1つに統合されました。検索語の入力ボックスは、常に画面上部に配置されます(A)。Ver 4では、検索項目はプルダウンメニューで隠れていましたが、よく利用される「著者名」「雑誌名」（収載誌名）が最初から表示されていますし、絞り込み条件でよく使われる「原著論文」や「看護文献」などが最初から検索画面上に表示され絞り込みやすくなります(B)。第二段階のバージョンアップでは新たに「フルテキストあり」「無料フルテキストあり」「雑誌の所蔵あり」の絞り込み条件が追加される予定です。



Ver 5 検索初期画面

検索結果画面の改善

ヒットした文字列がハイライト表示されます(C)。ヒットした文献の著者名、収載誌名、キーワードがリンク表示となり、再検索が行えます(D)。



検索結果画面

「抄録を見る」をクリックするとすぐに抄録が表示されます(E)。

一部の文献については、該当論文の参考文献情報が付与されます。「参考文献を見る」をクリックします(F)。さらにその参考文献についても、PubMed・医中誌web・CorssRsfなどにリンクします。ただし、参考文献が表示される文献は、平成23年4月25日時点で約4万件です。

(3 ページに続く)

論文種類に“事例”タグが追加

2011年データから“事例”タグが追加されました。看護・介護・福祉分野における1例ないし、数例の報告、検討、研究、分析文献に対して付与されます。

分類「看護」タグが文献単位で付与

これまでは「看護」「歯学」の分類は、2002年以前のデータでは「雑誌」によって分類分けされていました。そのため看護文献でも医学雑誌に掲載していれば「看護文献」には分類分けされていませんでした。Ver 5より全てのデータが文献単位で分類分けされましたので、「看護文献」の絞込みがより正確になりました。

シソーラス参照の改善

シソーラスの参照画面はタブで画面を切り替えて表示します。

シソーラス用語の一覧表示で、Ver 4では同じ見出し語が重複して表示されていましたが、まとめて表示されるようになります。

シソーラス
参照
クリア

糖尿病
このキーワードで検索
☒ 下位語も検索する
☐ メジャー統制語に限定する

副標目 (G)

	<input type="checkbox"/> 診断すべて	<input type="checkbox"/> 治療すべて	
薬物・化学物質	<input type="checkbox"/> 診断	<input type="checkbox"/> 治療	その他
<input type="checkbox"/> 薬理学	<input type="checkbox"/> 画像診断	<input type="checkbox"/> 薬物療法	<input type="checkbox"/> 病因
<input type="checkbox"/> 毒性・副作用	<input type="checkbox"/> X線診断	<input type="checkbox"/> 外科的療法	<input type="checkbox"/> 遺伝学
<input type="checkbox"/> 治療の利用	<input type="checkbox"/> 放射線診断	<input type="checkbox"/> 移植	<input type="checkbox"/> 免疫学
<input type="checkbox"/> 診断の利用	<input type="checkbox"/> 超音波診断	<input type="checkbox"/> 食事療法	<input type="checkbox"/> 化学的誘発
<input type="checkbox"/> 類似体・誘導体	<input type="checkbox"/> 病理学	<input type="checkbox"/> 精神療法	<input type="checkbox"/> 合併症
<input type="checkbox"/> 拮抗物質・阻害物質		<input type="checkbox"/> 放射線療法	<input type="checkbox"/> 転移性
<input type="checkbox"/> 血液		<input type="checkbox"/> 看護	<input type="checkbox"/> 欠損・欠乏
<input type="checkbox"/> 尿		<input type="checkbox"/> リハビリテーション	<input type="checkbox"/> 有害作用
		<input type="checkbox"/> 予防	<input type="checkbox"/> 疫学
			<input type="checkbox"/> 予後
			<input type="checkbox"/> 実験的

上位語・下位語

栄養疾患と代謝性疾患(c18+)
 代謝性疾患(c18-20+)
 グルコース代謝異常(c18-20-40+)
 糖尿病(c18-20-40-50+)
 前糖尿病状態(c18-20-40-50-10)
 糖尿病-1型(c18-20-40-50-20+)
 Wolfram症候群(c18-20-40-50-20-10)
 糖尿病-2型(c18-20-40-50-30+)
 糖尿病-脂肪蓄積性(c18-20-40-50-30-10)
 糖尿病性ケトアシドーシス(c18-20-40-50-40)
 妊娠糖尿病(c18-20-40-50-50)
 妊娠糖尿病(c18-20-40-50-60)

選択されたシソーラス用語が属するカテゴリーに応じて、検索可能な副標目が表示されます(G)。例えば疾患名でシソーラス用語を検索すると、「診断」「治療」などの副標目がチェック可能になります。「薬理学」「毒性・副作用」などの副標目は薄い色で表示され、チェックもできません。適当な副標目にチェックを入れることでより適合性の高い検索結果が得られます。

第二段階目のバージョンアップは、9月に公開予定です。

異体字、ひらがな・カタカナなどの表記のゆれを吸収した「あいまい検索」が可能になるほか、検索結果のフィルター機能、個人設定機能「My医中誌」などが追加されます。

第二段階の詳細は、次号30号でご紹介します。

希望者には利用説明会を開催します。
図書館カウンターでお申込みください。

平成23年購読雑誌 新規・中止のお知らせ

図書館で配架している購読雑誌について、新規・中止雑誌をお知らせします。

○新規購読雑誌

EB nursing
小児内科
日本公衆衛生雑誌
保健衛生ニュース

※次の4タイトルは、平成22年度「学生向け購読雑誌希望調査」結果から選定しました

Non-no
TV Bros.
月刊にいがたタウン情報
マンスリーよしもとPLUS

○購読中止・休刊雑誌

看護学雑誌(2011年より休刊)
小児科臨床(「小児内科」と入替)

雑誌の一部は、東日本大震災の影響により発行が1カ月以上遅れているものがあります。



新入生のみなさん ようこそ図書館へ

1F

1階は、看護学・自然科学・医学・社会福祉などの専門書が中心です。
閲覧席が48席あります。

窓下書架(入口側)



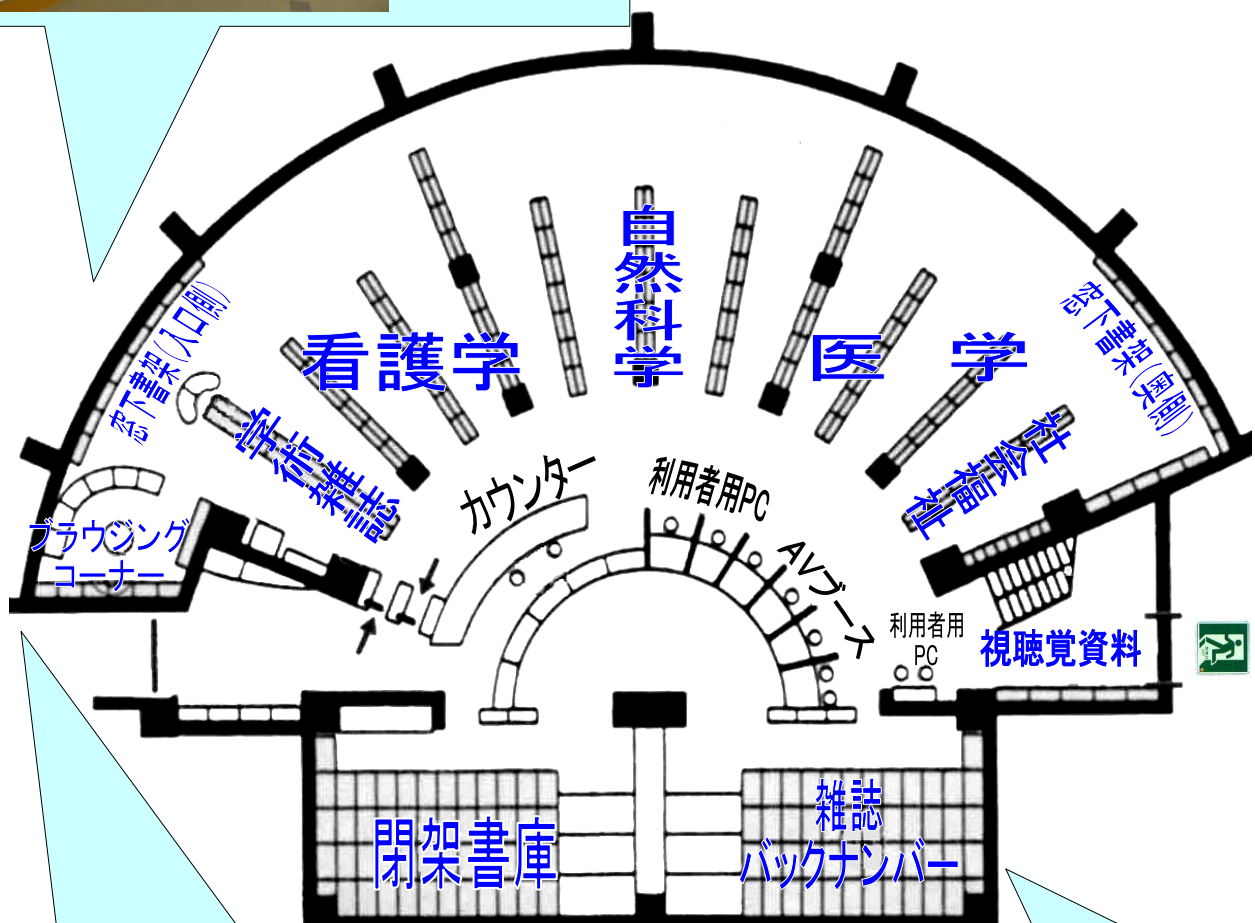
白書・統計・文献目録・索引誌など調べ物に使う図書が並んでいます。

窓下書架(奥側)には百科事典があります。

シラバスワゴン



シラバスに掲載している必携図書・参考図書は、1階の棚7と8の横にある特設ワゴンに並んでいます。



ブラウジングコーナー



ソファがあり、一般雑誌や文庫を読んだり、CDを聴くことができます

移動式書架



移動式書架には雑誌のバックナンバーや昨年の新聞、版が古くなった図書が並んでいます。横についているハンドルを回して書架を動かします。

1 階そのほか

災害・地震資料コーナー



中越大震災および中越沖地震に関する資料を中心に新潟県の災害看護に関連する資料を重点的に収集しています。
1 階階段近くにあります。

本学・地域資料コーナー



本学資料棚には本学で発行した報告書やシラバス、学生便覧や本学に関する新聞記事のスクラップなどがあります。地域資料棚には新潟県の行政資料を始めとした地域資料があります。
1 階窓際の奥壁面にあります。

2F

2階は、情報科学、心理学、歴史、社会学、文学などの一般教養書が中心です。
1 人用学習席が 3 2 席あります。



2 階の書架は、一番下の段に「大型本」（サイズが約 30 c m 以上）を並べています。

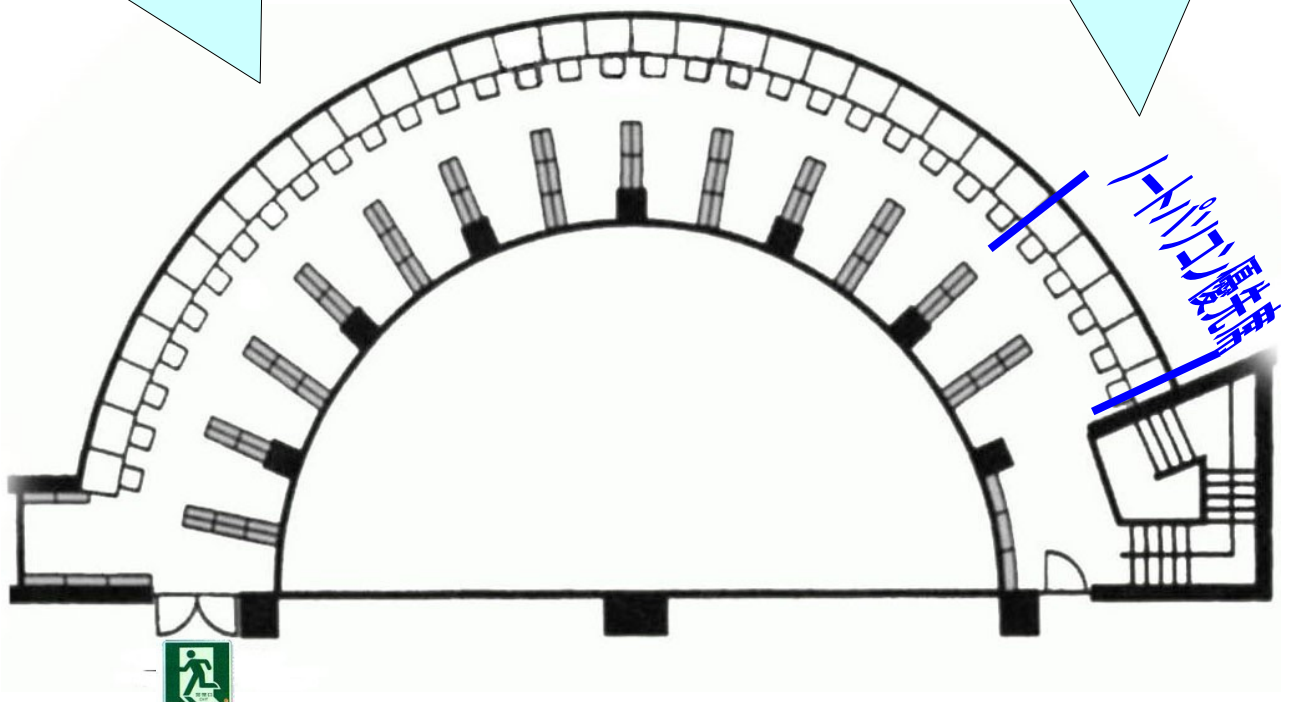
パソコン優先席



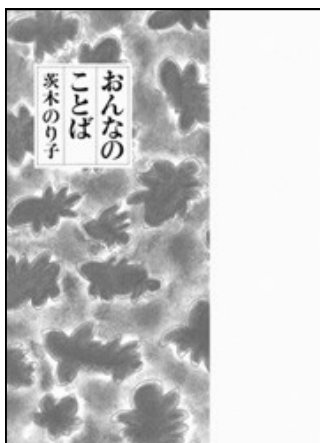
ご自分のノートパソコンを使用したいときは優先席でご利用ください。

館内では無線 LAN が使えます。

Word、Excel、ウイルス対策ソフトなどのインストールを館内で行えます。ソフトはカウンターで申し込んでください。



書 評



請求記号

911.5-111(棚25(2階))

『おんなのことば』

茨木のり子・童話屋・1994

精神看護学助手 川里 庸子

ばさばさに乾いてゆく心を
 ひとのせいにはするな
 みずから水やりを怠っておいて
 (中略)
 自分の感受性くらい
 自分で守れ
 ばかものよ



(茨木のり子「自分の感受性くらい」より抜粋)

➤ の詩にガツンと頭を打たれたのは、私が中学生の時
 ー でした。この時以来、茨木のり子さんの詩は私にとつてなくてはならないものになっています。十代、二十代、そして今。彼女の詩は、その時々で違う形で私に語りかけてきます。

今回ご紹介する『おんなのことば』は、茨木のり子さんの6冊の詩集から35編を選んだ詞華集(アンソロジー)です。茨木のり子さんは戦後詩を牽引した日本を代表する女性詩人で、2006年に79歳で亡くなりました。「わたしが一番きれいだったとき」は国語の教科書にも掲載され、「自分の感受性くらい」「倚りかからず」などの詩で知られています。「凜(りん)とした女性」、まさにこの言葉がぴったりの方です。

冒頭で紹介した「自分の感受性くらい」は、この本の最初に掲載されている詩で、厳しくも温かく、周りの状況がどうであろうと自分の感受性に責任を持て、と語りかけます。いつ読んでも襟を正さずにはいられない、そんな詩です。

他にも素敵なお詩が沢山あります。ランドセルを背負った娘の口から「だいたいお母さんでもものはさ しいん としたところがなくちゃいけないんだ」と聴き、「人間は誰でも心の底にしいんと静かな湖を持つべきなのだ」と、人間の持つべき魅力を感じた「みずうみ」。「この失敗にもかかわらず 私もまた生きてゆかねばならない なぜかは知らず 生きている以上生きものの味方をして」と、痛みを持ちながらも周りのものを愛しながら生きていく覚悟があることを記した「この失敗にも

かわからず」。自分自身が傲慢な気持ちになりかけそうな時、「沢山のやさしい手が添えられたのだ」ということを思い出させてくれる「知命」。「一人でいるのは 賑やかだ」と、豊かな孤独を描き、まだ見ぬ恋人への希望を綴った「一人は賑やか」。初々しい恋心を描いた「あほらしい唄」「私のカメラ」。「聴く力」「汲む」、そして表題作の「おんなのことば」。どの詩にも嘘がなく、品格、潔さ、正義感、覚悟、ユーモアがあります。そして何より、豊かで、しなやかな、どこまでも深い彼女の感性に満ち溢れています。

感性。看護師の仕事は感性の仕事である、といわれます。病を抱え、細やかな心配りによる温かなケアを必要としているのが患者です。患者の思いに寄り添い、さまざまなニーズをきめ細かくキャッチするためには感性(感受性)が大切です。心の動きを感じとる力、物事を感じとる力、すなわち感性を豊かにすること、これは看護師の務めなのかもしれません。自分の感受性の鋭さゆえに傷ついたり、あるいは鈍さゆえに愕然としたりすることもあるかもしれません。ですが、茨木のり子さんには遠く及ばないけれど、豊かでみずみずしい感受性をもって、これから出会う人・物事・時代と向き合っていきたいものです。

叱ったり、励ましたり、ただ傍らにいてくれたり、私の心の中の泉に様々な波紋を起こしてくれる『おんなのことば』。今日もまた、この本を手に取りたくなるのです。

(かわざと ようこ)

図書館web新サービス始めました～利用状況照会・文献依頼～

図書館のWebOPACから下記のサービスが利用できます。事前にカウンターで登録手続きが必要です。登録後、図書館ホームページの左のメニューからログインしてください。

① 利用状況照会

自分が今何を借りて、いつまでに返せばいいかが分かります。

② 文献依頼(複写・購入リクエスト)

複写依頼と図書館へ購入希望リクエストができます。また、医中誌webやCINAHLなどの文献検索データベースから自動的に複写依頼もできます。

先輩からのADVICE “図書館活用法”

図書館のススメ

4年 山口 愛

看護大学で学ぶにあたり、図書館を上手に利用することはとても大切なことだと思います。後輩の皆さん、1年生のうちから図書館の利用に慣れておくことを、お勧めしますよ。

私は、1、2年生の頃は主に、レポートやその他の課題をやるために図書館の本や雑誌を利用していました。そして、3年生になり、臨地実習が本格的に始まった頃から、更に図書館の利用頻度が高くなりました。看護の手技や、アセスメントの基本、疾患や、実習に臨むための心構えまで、図書館にある本から学ぶことが出来ました。図書館で借りた本を、実習の休憩中に読み、実習記録を書くときには必ず図書館で借りた本を傍らに置いていました。図書館の本は実習の強い味方であり、実習に臨むにあたり、図書館はなくてはならない存在でした。これからは専門実習が始まりますが、また図書館にお世話になると思います。このように、図書館の本は初心者向けの内容のものから、高度な内容のものまで揃っており、自分のレベルに応じて本を選び、学ぶことが出来るため、本当に役に立ちます。

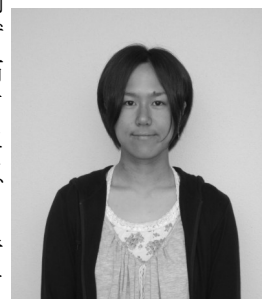
他にも私は、自習するために図書館を利用しています。食堂やレセプションホールも自習に使うことができますが、図書館は最も自習に最適です。静かで、気

になることがあればすぐに調べられます。また、大きな資料を広げたい時は1階のテーブル席を利用しますし、周囲を気にせず集中したい時は2階の個別席を利用します。このように、その時の学習内容によって利用する席を使い分けることも出来ます。皆さんも、図書館を自習場所として利用してみてはいかがでしょうか。

そして、最後に、私から1年生の皆さんへのアドバイスが3つあります。1つ目は、図書の返却についてです。図書の延滞、これには本当に注意してください。延滞するとその日数分、借りられなくなってしまいます。そうすると、自分が本当に困ることになります。2つ目は、図書館での会話についてです。どうしても話す場合は、小声で最小限に留めるようにして下さい。私のように図書館で自習をしている人もたくさんいますので、人の話し声はとても気になるものです。そして、3つ目です。移動式書架を利用するときはストッパーを必ずして下さい。挟まれると結構痛いんです。以上のことに注意してもらえると、図書館がみんなにとってよりいい場所になると思います。

後輩の皆さん、図書館を上手に利用し、充実した学校生活を送って下さい！

(やまぐち あい)



私の図書館活用法

4年 山田 彩乃

私は、昔から本を読むことが好きでした。難しい文章よりもストーリー性のある小説の方が好きなので、1年生の頃は大学の図書館よりも市立図書館をよく利用していました。そんな私ですが、授業で出される課題が増えるごとに、大学の図書館を利用する機会も多くなりました。

2年生の頃、私は、図書館を勉強スペースとしてよく利用しました。特に後期になると看護学の授業が増え、テストも大変になるため、頻繁に図書館に通ったものです。図書館は、勉強スペースとしてもとてもいい空間であると思います。また、3年生になって実習が始まったときには、受け持ち患者さんの病態について調べ、看護援助をする上での準備をするために、図書館で本を探しました。そして、実習を終えた夕方には、実習の記録を書くために図書館に向かいました。図書館では、記録を集中して書くことができたことを覚えていています。

4年生になった今、私は、これまで以上に図書館を利用しています。それは、卒業研究が始まったからで

す。看護研究をする上で文献は必須ですので、今までで以上に図書館の重要さを感じています。図書館の移動式書架には、論文が掲載された雑誌が数多く置いてあります。その中から、自分で必要だと思ったものを借りたり、持ち出し禁止のものはコピーしたりしています。また、欲しい文献が大学図書館にない場合は、他の大学や発行元から取り寄せることもできます。このような、コピーをする時に必要な申請や、他大学などからの文献取り寄せに関しては、カウンターにいる司書さんに聞くと丁寧に教えてくれました。今後も、卒業研究を進めていく上で、何度も何度も図書館を利用していくと思います。

それから、大学の図書館には、勉強で使用する本以外にも、文庫・新書コーナーや雑誌コーナーもあります。ちょっとした本や雑誌を読むのも、勉強の息抜きや時間を潰すのにはとてもよいです。このように、大学の生活には図書館は欠かせないものと感じています。4年間を通して様々な場面で利用できますので、ぜひみなさんも活用してみてください。

(やまだ あやの)



平成23年度新図書委員のあいさつ

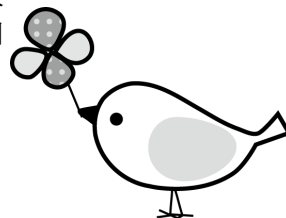
老年看護学准教授 城戸裕子

図書館委員は、ウン十年前に意中の男の子がどうやら図書館委員になるらしいと噂に聞いたときかさず立候補して委員の座を獲得した以来の役割です。当時は、放課後に図書の貸し出しの手伝いや本棚の整理などを担当していたのを思い出しました。人がいるとつい話しかけてしまう癖のある私にとって、あの図書館の静寂さは居心地がよくなかった記憶があります。しかし、大人になると一人の時間を確保し、自身と向き合う大切なものが本であることの魅力に気づき、図書館で過ごす時間は自分探しのようで愉悦にさえ思えるから不思議なものです。膨大な本の中から一冊ではわからなかったことを何冊か読んでいくうち、

その矛盾や本当のことを探りあてていくのは何とも気の遠くなることではあるのですが、発見でもあります。図書館が利用する方にとって有意義な時間と空間を提供できる場であるように本年度、図書委員の役割を他の委員の先生方の御教授を頂きながら務めたいと考えています。

ちなみに冒頭の意中の男の子とのその後ですが、彼はなぜかベルマーク委員になってしまい、私の恋心はあっさりと撃沈し、まさしく本の似合う文学少女の同級生と図書館の本としぶしぶ一年間付き合う羽目となりました。

(きど ゆうこ)



図書委員会では、図書館の管理運営、図書館資料の整備及び購入計画、大学関係資料の整理保管に関する事項を検討及び立案しています。

平成23年度の図書委員会は中野図書館長、橋本教授、城戸准教授、渡辺講師、郷助教の計5名で構成されています。

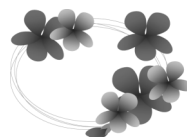
人事往来～図書館職員の退職・新任あいさつ～

前・開館延長嘱託員 羽深葉子(平成23年3月末退職)

一年間という短い在職期間ではございましたが、楽しい時間を過ごさせて頂きました。大変お世話になりました。私は図書館の仕事に携わった事で、看護師を目指す皆さんが、閉館時間まで時間を惜しむように勉強する様を目の当たりにして看護師への道のりの大変さをつくづく感じました。

また、そんな日常の中でも明るく学生生活を楽しんでいる様子も伺え、私には学ぶものがありました。日本の未来を担う皆さんの日々の努力が実りますように祈っております。

同じく開館延長嘱託員で小熊健憲さんも3月末で退職されました。
ありがとうございました。



新・開館延長嘱託員 難波秀道(平成23年4月採用)

今年の4月から図書館の夜間及び土曜日の嘱託員としてお世話になっております。医療、看護、保健、福祉、介護等分野が広く、学ぶことが大変かと思いますが、国家試験をめざして頑張っていただきたいと思います。私も妻も両親が健在ですが医療問題あり、老々介護が目の前にせまっております。皆さんに快く利用してもらえるように、お手伝いができるよう努めたいと思っています。

よろしくお願い致します。

新・開館延長嘱託員 太田則子(平成23年4月採用)

4月から開館延長職員としてお世話になっております。素晴らしい自然環境のもとで働ける事を大変嬉しく思っております。図書館業務は初めてで不安もありましたが先輩方より親切丁寧に教えて頂き、安心して仕事に向かう事が出来ます。

日々、皆様の勉強されている姿を拝見する折、背筋の伸びる思いが致します。微力ながら皆様に快適に図書館を利用していただけるよう、精進努力して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

寄贈図書案内 平成22年11月～平成23年5月受入

下記の著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。(敬称略・受入日順)

寄贈者名	書名	出版年	請求記号
江尻美穂子	Century books 人と思 136 神谷美恵子	1995	289.1-E41
小林恵子	子ども虐待事例に対する保健師のケアの検証と評価に関する研究 2006～2008年度科学研究費補助金 基盤研究(C)	2011	N257-Ko12-06-08

図書館だより 第29号(平成23年 6月23日発行)

編集:新潟県立看護大学 図書委員会

〒943-0014 上越市新南町240番地

E-mail: tosy@niigata-cn.ac.jp

発行:新潟県立看護大学図書館

TEL: 025-526-1169

URL: http://lib.niigata-cn.ac.jp/